

平成→令和へパスつなぐ 桐陽高生が巨大アルミ缶アート

沼津市高島本町の桐陽高の生徒たちが31日、アルミ缶を並べて地上に巨大な絵を描く「アルミ缶アート」を同校で完成させた。9月に県内などを会場に開幕するラグビーワールドカップ(W杯)にちなんだデザイン。1日の学園祭で一般公開する。

きょう学園祭で公開



作品は縦21尺、横11尺。アルミ缶約5万個を使い、ラグビー選手

手がボールをパスする場面を描いた。生徒会がW杯を盛り上げようとデザインを決めた。平成から令和へつなぐという思いも込めたと

アルミ缶はアートに利用した分を含め、約31万個を全校生徒や地域住民、企業の協力で集めた。学園祭後は換金し、同校が取り組む東日本大震災の復興支援に充てる。



ラグビーW杯にちなんだ巨大アルミ缶アート
＝沼津市高島本町の桐陽高